

(研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学保健看護学部

「令和7年度 排泄に関するヘルスアセスメント」を受講された方へ

看護系大学等の看護基礎教育では、看護学生の看護実践能力の向上に向けて、アクティブラーニングの導入が促進されています。令和7年12月「排泄に関するヘルスアセスメント」の講義において、ロールプレイを体験していただき、皆さんに問診に対する自信が変化したかどうかやその理由、ロールプレイの感想等を出席表・ワーク記録用紙に記入していただきました。今後のヘルスアセスメント教育への示唆を得るために、皆さんのお出席表・ワーク記録用紙の内容について、分析させていただき、教育評価を行ってまいりたいと考えております。

すでに存在する情報を利用させて頂く研究ですので、対象となる皆様に新たなご負担をお願いするものではありません。全ての出席表・ワーク記録用紙の学籍番号・氏名を裁断し、個人情報がない状態にした上で分析し、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究で、ご自身の情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、本資料の掲示日から1ヶ月以内に、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

排泄のヘルスアセスメントにおける問診への自信獲得を目指したアクティブラーニングの効果の検討

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学保健看護学部 講師 米島 望

3. 研究の目的

この調査は、排泄のアセスメントにおける問診の実施に対する自信の向上を目指し、アクティブラーニングを用いた講義の効果を明らかにし、今後のヘルスアセスメント教育への示唆を得る目的で実施します。学内の講義の中でも実践的に学習する教育手法が確立することで、今後の看護の担い手となる学生の看護実践能力の向上に寄与できるものと考えております。

4. 研究の概要

(1) 対象者

和歌山県立医科大学保健看護学部において令和6年および令和7年12月に実施した「排泄に関するヘルスアセスメント」の講義の受講者

(2) 利用させて頂く情報

講義後提出していただいた出席表・ワーク記録用紙の結果

(3) 方法

講義前後での排泄のヘルスアセスメントにおける問診の自信の変化については得られたデータは単純集計し、分布の正規性に沿って差の検定を行う。自由記述で得られたデータは、質的記述的に分析する。

5. 研究期間

<登録期間>令和7年度～令和10年度 <実施期間>令和7年度～令和11年度

6. 個人情報の取扱い

全ての出席表・ワーク記録用紙の学籍番号・氏名を裁断し、個人情報がない状態にした上で分析し、すべてデータ化して無記名で取り扱い、個人を特定できないように管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがあります、その際も個人情報が公表されることはありません。

7. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

皆様にはご自身のアンケート結果が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、本資料の掲示日から1ヶ月以内に下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。期間を過ぎますと同意が得られたものとして、学籍番号・氏名を用紙から裁断して分析を開始しますので、除外することができなくなります。なお、研究協力を拒否された場合でも、不利益を被ることは一切ありません。なお、本研究への参加、不参加によって成績には一切影響いたしません。

8. 問い合わせ先

和歌山県立医科大学保健看護学部 講師 米島 望

E-mail : yoneshim@wakayama-med.ac.jp (Teamsのチャットかメール等でご連絡ください)